

第6回山陽小野田市都市計画審議会議事録(要約版)

- 開催日時 平成23年7月7日(木)午後2時～3時
- 開催場所 山陽小野田市役所 大会議室
- 出席者 1号委員 中西 弘、西村重基、田中剛男、川空忠男
2号委員 伊藤 武、伊藤 實、硯谷篤史、高松秀樹
3号委員 坂元久夫、高無 正、田中文之、長谷川邦夫
- 欠席者 1号委員：塚本桓世、2号委員：衛藤弘光
- 事務局 白井市長
平田産業建設部長、
都市計画課 佐村課長、高橋技監、和氣課長補佐、井上係長、熊川主任技師
- 傍聴人 1名(宇部日報記者)
- 会議次第
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 市長あいさつ
 - 4 議事
議案第1号 小野田都市計画区域の変更について(諮問)
 - 5 報告事項
平成23年度都市計画決定・変更スケジュールについて
 - 6 その他
 - 7 閉会

○会議内容

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 議事

議案第1号 小野田都市計画区域の変更について

事務局より議案第1号について説明。

・質疑応答

(委員) 山陽都市計画区域が旧山陽町の区域と旧楠町の区域に分かれることにより、旧山陽の方に何か不都合があるか。

(事務局) 特にない。

(委員) 旧小野田市の高千帆地区と旧楠町地区とのつながりがあったと記憶しているが、その辺りへの影響はないのか。

(事務局) 旧小野田の高千帆地区と旧楠地区との都市計画的なつながりはない。

(委員) 今回の都市計画区域の再編・統合にあたり、「将来的に人口が減少する」という要素が考慮されているのか。

(事務局) 将来人口が減少傾向にある中、都市計画区域も宇部と一体となって規模を

大きくしてといった考え方もあるかと思うが、今現在では、一つの行政単位で、それぞれの新市総合計画を持ってまちづくりを進めていくべきではと考えている。

(委員) 小野田都市計画区域に追加される区域として、議案に記載の厚狭一丁目から大字津布田までが旧山陽町全域ということでよいのか。

(事務局) そのとおりである。

採決の結果、全会一致で第1号議案は原案どおり承認された。

5 報告事項

平成23年度の都市計画決定・変更スケジュールについて

事務局より報告事項について説明。

質疑応答

(委員) 線引きについて、1haあたり60人以上住んでいるところが多くないと、線引きできないのか？

(事務局) 今現在だけでなく、将来的にそのくらい人口の張り付きが見込める場合についても区域設定できる。

(委員) 非居住地を除いた都市計画区域の25%が線引きできる区域なら、もう十分線引きを指定してもよいのではないか？

(事務局) 市街化区域にできる区域が全体の25%あるのではなく、小野田都市計画区域では、区域内人口の25%しか住んでいない区域しか市街化区域にならない、ということである。

(委員) 旧山陽町地区についても同じことなのか？

(事務局) 山陽都市計画区域には、1haあたり60人を満足する地域がない。

6 その他 ～省略～

7 閉会